

豊かな実績・確かな信頼

Manol[®]

マノール ポリマー[®]

#1000

塗布・混和型モルタル接着増強剤

JIS A 6203
規格適合品

合成高分子エマルジョン

JAIA F☆☆☆☆

登録番号 003478



株式会社 **マノール**

Manol Polymer #1000

〈塗布・混和型〉モルタル接着増強剤

マノールポリマー #1000

マノールポリマーは、エチレン酢酸ビニル系コーポリマーで、
耐水性、耐アルカリ性、耐候性、密着性、作業性など諸特性に優れた
塗布・ノロ・薄塗り・混入汎用タイプの高分子エマルジョンです。

特性

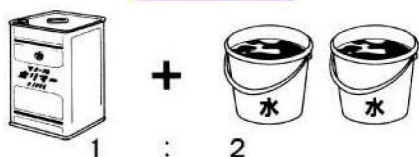
- 接着力、防水性、引張り、曲げ強度の向上
- 保水性の改良、ドライアウトの防止
- 肌別れ、キレツの防止、耐摩耗性、化学抵抗性の改善
- 薄塗り工法、下地調整、各種塗材の下地処理

1. 塗布工法 (吸水調整材)

下地：壁面コンクリート・ALCの場合

- ポリマー#1000の3倍液をハケ又はスプレーで均一に塗布します。
- 塗布後のオープンタイムが長く、追かけ塗りも可能です。
- 吸水性がはげしい下地には2回塗りします。

3倍液塗布

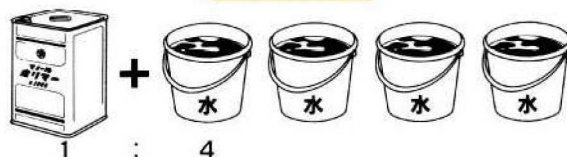


18kg缶の施工量／約360㎡、ALC……約180㎡

下地：床面コンクリートの場合

- 床面はとくにレイトンス、ゴミ、油類が浮きの原因となるので十分に除去、清掃します。
- 床面にポリマー#1000の5倍液をデッキブラシ等ですり込むように塗布します。
- 吸水性がはげしい下地には2回塗りします。

5倍液塗布



18kg缶の施工量／約360㎡

■ マノールポリマー#1000 公共建築協会吸水調整材の試験結果

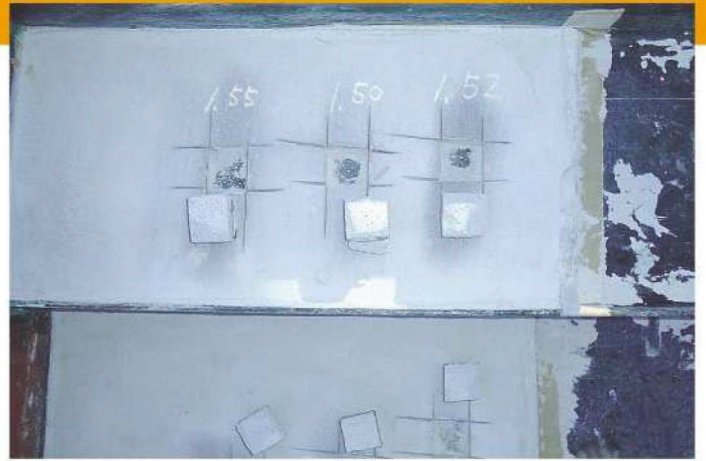
品質項目		性能基準値	測定値
外観		粗粒子、異物、凝固物がないこと	異常なし
全固形分 (%)		45.0±1.0	45.6
吸水性 30分当り… (g)		1.0以下	0.3
接着強度	標準状態 (N/㎡)	0.98以上	1.80
	熱冷繰返し抵抗性 (N/㎡)	0.98以上	1.20
	凍結融解抵抗性 (N/㎡)	0.98以上	1.30
	熱アルカリ溶液抵抗性 (N/㎡)	0.98以上	1.70
界面破断	標準状態 (%)	50%以下	0.0%
	熱冷繰返し抵抗性 (%)	50%以下	33.0%
	凍結融解抵抗性 (%)	50%以下	20.0%
	熱アルカリ溶液抵抗性 (%)	50%以下	10.0%

社団法人 公共建築協会 建築材料品質性能評価書



荷姿





マノールポリマー#1000接着力試験状況

2.混入工法 (不陸調整、薄塗り仕上げ、打継ぎ、豆板部、クラック補修、サッシ詰モルタル、防水層保護モルタル、樹脂モルタル)

ポリマーノロの場合

- セメントにポリマー#1000の3倍または5倍液で混練りします。(用途に応じて希釈倍率を選定して下さい。)
- 下地は十分に水湿した後、ノロをハケ又はこて塗りします。床面はデッキブラシを使って下さい。
- モルタル塗工する場合は、ノロが乾かないうちに追っかけ塗りします。

3倍希釈液の割合



18kg缶の施工量 / 約95㎡ (セメント4.7袋)

5倍希釈液の割合

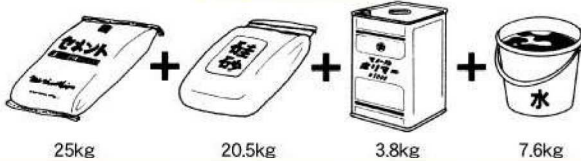


18kg缶の施工量 / 約150㎡ (セメント7.9袋)

下地調整・薄塗り仕上げの場合

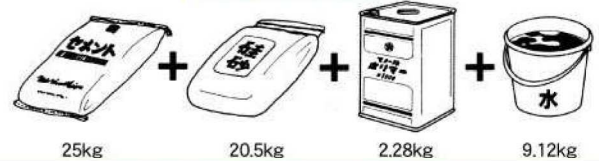
- セメントと珪砂(7号)を十分に空合わせした後、ポリマー#1000の3倍または5倍液で混練りします。(用途に応じて希釈倍率を選定して下さい。)
- コテで1~2mm厚に塗工します。

3倍希釈液の割合



18kg缶の施工量 / 1mm約130㎡

5倍希釈液の割合

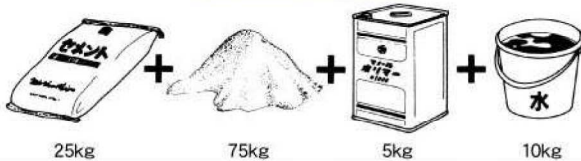


18kg缶の施工量 / 1mm約220㎡

ポリマーモルタルの場合

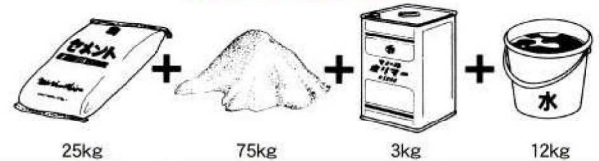
- セメントと川砂を十分に空合わせした後、ポリマー#1000の3倍または5倍液で混練りします。(用途に応じて希釈倍率を選定して下さい。)
- 下地にポリマー#1000の3~5倍希釈液を塗布すれば、接着力は増強します。
- 練り置きは避けて下さい。

3倍希釈液の割合



18kg缶の施工量 / 5mm約37㎡

5倍希釈液の割合



18kg缶の施工量 / 5mm約60㎡

*3倍希釈液使用：高性能接着防水用ポリマーセメントモルタル

*5倍希釈液使用：汎用ポリマーセメントモルタル

注意事項

- 下地、とくに床面のレイトンス、塵埃、油類等は、接着効果を阻害しますので、必ず除去清掃して下さい。
- 気温が3℃以下の場合、施工しないで下さい。

Manol Polymer

#1000

試験結果

I. 接着力試験(建研式引張試験機による) 材令28日

工法	種類	ポリマー#1000(3倍希釈液) 接着力 (kgf/cm ²)
塗布工法		15.0 {1.47}
ノ口工法		15.0 {1.47}
薄塗り仕上げ		16.0 {1.57}
モルタル混入		14.0 {1.37}

{ }の単位=N/mm²

1N/mm²=1.01972×10kgf/cm²

II. モルタル混入試験(JIS-A-6203:2000に準じる) 財団法人ベターリビング 試験成績書 第021280号

種類	項目	曲げ強さ {N/mm ² }	圧縮強さ {N/mm ² }	接着強さ {N/mm ² }	吸水率 (%)	透水量 (g)	長さ変化率 (%)
ポリマー#1000混入モルタル		11.6	50.1	2.7	2.3	0.8	0.049

{ }の単位=N/mm²

1N/mm²=1.01972×10kgf/cm²

■PL法に基づく記載

用途	<ul style="list-style-type: none"> セメント混和剤 セメント関連以外には、絶対使用しないでください。
△注意	<ul style="list-style-type: none"> 飲まないでください。他容器(ジュース・コーラ等の缶、ビン類)に移し変えると誤飲することがあります。 目に入ると炎症を起こすことがあります。取扱う際は保護眼鏡を使用する等、目に入らないようにしてください。 皮膚に触れると炎症を起こすことがあります。取扱う際は保護手袋(ゴム手袋等)を使用する等皮膚に触れないようにしてください。
取扱上の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> 製品自体は、不燃性ですが水分が蒸発した後の乾燥物は、可燃性となりますので注意してください。 子供の手の届かない所に置いてください。 使用する際は、標準使用量を厳守してください。
応急処置	<ul style="list-style-type: none"> 目に入った場合は、清浄な水で15分間洗浄し、医師の診断を受けてください。 皮膚に付着した場合は、ぬるま湯又は水を流しながら洗浄する。 飲み込んだ場合は、水でよく口の中を洗い、直ちに医師の診断を受けてください。
保管方法	<ul style="list-style-type: none"> 他の容器に小分けして保管しないでください。 凍結、直射日光を避け屋内で保管する。保管時の温度は、5℃以下及び40℃以上とならないようにする。 皮張り防止のため、使用後は密封して貯蔵する。
廃棄上の注意	<ul style="list-style-type: none"> 都道府県知事許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託して処理する。



セメント混和・助材総合メーカー

株式会社 マノール

本社/〒142-0043 東京都品川区二葉1-18-8 TEL.03(3787)1131
 東北支店/〒960-8075 福島市下野寺字遠原3-2 TEL.024(591)1131
 盛岡営業所/〒020-0122 岩手県盛岡市みたけ2-1-17 TEL.019(641)1131
 大阪営業所/〒535-0005 大阪市旭区赤川2-1-26 TEL.06(6927)3132
 福岡営業所/〒812-0004 福岡市博多区榎田2-8-35 TEL.092(413)3231

●親切な特約店